

柏崎刈羽7号 火災感知器の配置 工認指摘事項に対する回答整理表

No.	指摘日	資料番号	ページ	指摘事項	回答内容	資料番号	ページ
1	2020/5/22	KK7-021改4	全般	安全系区画と常用系区画の隙間については、消火設備の性能にも影響しないことを示すこと。	ガス消火設備については、消防法に基づき適切に開口補正を行う設計であり、影響がないことを追記。また、火災の影響軽減対策については、区分Ⅰとその他区分の火災区域に分離することから、影響がないことを追記。	KK7-021改5	P27
2	2020/5/22	KK7-021改4	P14	「コンクリート壁」が、耐火性を有していることを明記すること。	「3時間耐火相当の厚み(123mm以上)を有する耐火壁(コンクリート壁)」と記載を修正。	KK7-021改5	P14
3	2020/5/22	KK7-021改4	P14, P71	P71の表(安全系区分Ⅱ・Ⅲの隣接区画の上部貫通孔リスト)に記載する各区分が、P14に記載するどの火災発生防止対策を行っているのかを示すこと。(水素や油内包機器がある場合は、漏えい等に対する説明を行うこと。)	P71の表(安全系区分Ⅱ・Ⅲの隣接区画の上部貫通孔リスト)に記載する各区分が、P14に記載するどの火災発生防止対策を行っているのかを追記。また、水素や油内包機器がある区分は、漏えい等に対する説明を追記。	KK7-021改5	P113
4	2020/5/22	KK7-021改4	P16	第1-2図のファンネルに対する火災防護対策を説明すること。	設置許可まとめ資料(8条-別添1-資料3-添付3)より、ファンネルの煙流入防止対策治具を設置している旨を抜粋。	KK7-021改5	P19
5	2020/5/22	KK7-021改4	P20	「熱の挙動解析」について、貫通孔の有無が結果に与える影響について説明すること。	火炎プルームの挙動から、貫通孔の有無および位置が解析結果に影響を与えることはないことを追記。	KK7-021改5	P21,23
6	2020/5/22	KK7-021改4	P21	「煙の挙動解析」について、実機では貫通孔の位置が0.5mよりも上方にあるが、その影響について説明すること。			
7	2020/5/22	KK7-021改4	P23	消防法関連の技術基準との比較においては、実機における貫通孔の形状を踏まえても、有意な影響がないことを説明すること。	実機における貫通孔の形状を踏まえても、圧損係数等の比較等から、有意な影響が生じるおそれはないことを追記。	KK7-021改5	P25